

注目の歴史小説

血泥にまみれ、腐臭が漂い、白骨が散乱

火定

澤田瞳子 著

霧山文三郎 (作家・古代史研究者)

PHP文庫 定価968円(税込み)

「火定」は、平城京内の、

血泥にまみれ、腐臭

が漂い、白骨が散乱す

るおぞましい場面を

描き出した。

作家の安部龍太郎氏

は、後の解説で、作

者が人間への慈悲や愛

情が深く、求めるもの

が大きいがゆえに、と

述べている。

望のなか、名代は諸男

いる。

【著者紹介】澤田瞳子(さわだ・とうこ)

1977年、京都府生まれ。同志社大学

文学部文化史専攻卒業。同大学院前期

博士課程修了。2010年、弘鷹の天

で小説家デビュー。11年、同作で第17回

中山義秀文学賞を最年少受賞。12年、満

月の月如し 仏師・定朝」で第2回本

屋が選ぶ時代小説大賞。13年、第32回新

田次郎文学賞受賞。16年、「若冲」で第9

回親鸞賞受賞。著書に「落花」「月人杜

士」「名残の花」「稚児桜」「駆け入りの寺

などがある。



かじう 澤田瞳子

【著者紹介】澤田瞳子(さわだ・とうこ) 1977年、京都府生まれ。同志社大学文学部文化史専攻卒業。同大学院前期博士課程修了。2010年、弘鷹の天で小説家デビュー。11年、同作で第17回中山義秀文学賞を最年少受賞。12年、満月の月如し 仏師・定朝」で第2回本屋が選ぶ時代小説大賞。13年、第32回新田次郎文学賞受賞。16年、「若冲」で第9回親鸞賞受賞。著書に「落花」「月人杜士」「名残の花」「稚児桜」「駆け入りの寺」などがある。

拉致問題啓発 講演会

令和2年12月20日開催



講演を終えた飯塚耕一郎さん(控室で)

母が拉致された時、僕はまだ1歳だった

「金賢姫の著書の中にも、連日くつになった。に「恩恵先生は、酒に、かしろを指折り数え、酔って、私の子と涙を流していた」とい

るもの。意地悪をして中古住宅を、買った想定で「住宅を購入したので、すが、中古でも大丈夫ですか」と入、れてみました。すると4つの選択肢、がでてきて、これ、らすべて読むと、税理士並みに答えて、くれました。いや、私よりす、ごいかも。



チャットボットふたば

税理士 上西 知

難しい税金ですが面白いものを発見しましたので、皆様にシェアさせていただきます。国税庁のホームページの中に「チャットボットふたば」のコーナーがあることを、ご存じでしょうか。チャットで、ロボットの答え、てくれる。その、名もふたばちゃん。

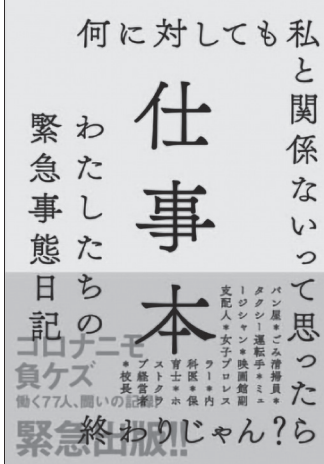
税理士がこんな、なものを、使うこ、とはないと思、いながら、試して、みますと、意外なことに結構使えるの、です。例えば、ややこしい住宅ローン控、除。家を買ったが所得税が返ってく、うになっていて、「は」と答える

話題の本

編集委員 石河亮平

仕事本 わたしたちの緊急事態日記

左右社 定価2,000円(税込み)



私と関係ないって思った、は、1年が経った今も、猛威を振るっている。世界の感染者数は1億人超、死者は200万人を超える。新たな脅威は強力な変異ウイルスだ。2月7日までの再緊急事態宣言は、府県を10都府県に、対して3月7日まで延長された。ワクチン接種、日、から4月末までの出、だ。

【本のねらい】「私たちの日記」は、いともうご決めた。それがこの「仕事本」だ。

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

【私たちが日記を書いた】

【緊急事態宣言の4月7日】

声をかけられると、ありがたい

「金賢姫の著書の中にも、連日くつになった。に「恩恵先生は、酒に、かしろを指折り数え、酔って、私の子と涙を流していた」とい

るもの。意地悪をして中古住宅を、買った想定で「住宅を購入したので、すが、中古でも大丈夫ですか」と入、れてみました。すると4つの選択肢、がでてきて、これ、らすべて読むと、税理士並みに答えて、くれました。いや、私よりす、ごいかも。

東大阪の古代史研究家 十帖田の古代史塾

③

百人一首殺人事件 ③

見るとなおさらそう思ってしまう。そこへ「すまん」と頭を下げられているのだからつい許してしまう。女は男のすまん」に弱いようだ。

成平は今まで、何軒も梯子酒をしてペロペロになるまで飲むということなどほとんどなかった。だから自宅の鍵をなくすこともなかった。賃貸なら管理人に開けてもらうこともできた。しかし彼がいま住んでいるのは転勤した兄が購入した分譲マンションなのだ。二日酔いの頭で成平は考えた。いつもの酒を飲む富田や大伴や、戸田は鍵などなくしたことはないのだろうか。戸田は家族と住んでいるから鍵がなくても入ることはできる。しかし、富田や大伴は1人暮らしだ。

「犯人Xはいよ。きつと。あんなにいつも飲んでいる富田が自宅の鍵をなくさないわけがない。その時のために予備の鍵をどこかに隠しているはずだよ。植木鉢の下とかポストとか」

京都府宇治市は「源氏物語のまち」がキャッチフレーズだ。源氏物語五十四帖の後半にある宇治十帖に因んだものだろう。源氏物語に関連したものを展示した宇治市源氏物語ミュージアムもある。成平と悟子は久々のドライブでその宇治へ来ていた。10円硬貨に描かれている平等院を訪れた後、川縁の座敷に上がった屋敷をのぞいてみる。2人にとっては少し豪華なメニューだ。うなぎの飯蒸しも美味しい。食事を始めてすぐに悟子がおしぼりの出ていないことに気付いた。他のテーブルには出ているからおそらく忘れたのだろう。

京都府宇治市は「源氏物語のまち」がキャッチフレーズだ。源氏物語五十四帖の後半にある宇治十帖に因んだものだろう。源氏物語に関連したものを展示した宇治市源氏物語ミュージアムもある。成平と悟子は久々のドライブでその宇治へ来ていた。10円硬貨に描かれている平等院を訪れた後、川縁の座敷に上がった屋敷をのぞいてみる。2人にとっては少し豪華なメニューだ。うなぎの飯蒸しも美味しい。食事を始めてすぐに悟子がおしぼりの出ていないことに気付いた。他のテーブルには出ているからおそらく忘れたのだろう。

京都府宇治市は「源氏物語のまち」がキャッチフレーズだ。源氏物語五十四帖の後半にある宇治十帖に因んだものだろう。源氏物語に関連したものを展示した宇治市源氏物語ミュージアムもある。成平と悟子は久々のドライブでその宇治へ来ていた。10円硬貨に描かれている平等院を訪れた後、川縁の座敷に上がった屋敷をのぞいてみる。2人にとっては少し豪華なメニューだ。うなぎの飯蒸しも美味しい。食事を始めてすぐに悟子がおしぼりの出ていないことに気付いた。他のテーブルには出ているからおそらく忘れたのだろう。

京都府宇治市は「源氏物語のまち」がキャッチフレーズだ。源氏物語五十四帖の後半にある宇治十帖に因んだものだろう。源氏物語に関連したものを展示した宇治市源氏物語ミュージアムもある。成平と悟子は久々のドライブでその宇治へ来ていた。10円硬貨に描かれている平等院を訪れた後、川縁の座敷に上がった屋敷をのぞいてみる。2人にとっては少し豪華なメニューだ。うなぎの飯蒸しも美味しい。食事を始めてすぐに悟子がおしぼりの出ていないことに気付いた。他のテーブルには出ているからおそらく忘れたのだろう。

京都府宇治市は「源氏物語のまち」がキャッチフレーズだ。源氏物語五十四帖の後半にある宇治十帖に因んだものだろう。源氏物語に関連したものを展示した宇治市源氏物語ミュージアムもある。成平と悟子は久々のドライブでその宇治へ来ていた。10円硬貨に描かれている平等院を訪れた後、川縁の座敷に上がった屋敷をのぞいてみる。2人にとっては少し豪華なメニューだ。うなぎの飯蒸しも美味しい。食事を始めてすぐに悟子がおしぼりの出ていないことに気付いた。他のテーブルには出ているからおそらく忘れたのだろう。

痛くない死に方 けったいな町医者

ドキュメンタリー



試写会で挨拶する長尾和宏さん(左)と高橋伴明監督

2500人看取った町医者 長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

痛くない死に方 けったいな町医者

ドキュメンタリー



試写会で挨拶する長尾和宏さん(左)と高橋伴明監督

2500人看取った町医者 長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

長尾和宏さんが映画に

2500人看取った町医者

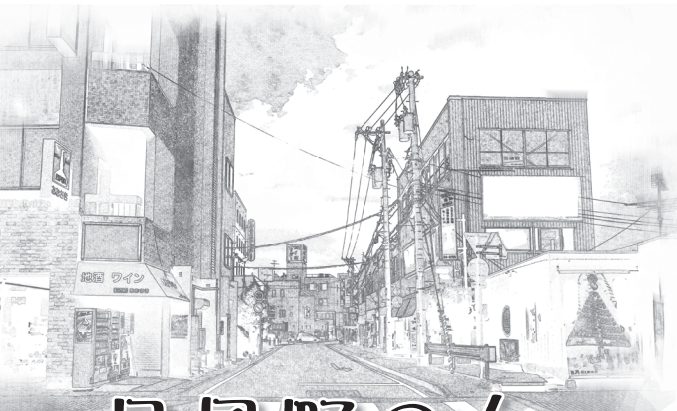
短編小説 カワチ奇譚 I

郷 五里 (八尾市在住の小説家)

昭和30年代後半から40年代にかけて来れた月見野商店街を知る人はもう少ない。
玉串川の畔にある山本球場から西へ100メートルほど下ったところを右に曲がる。そこが月見野商店街の始まりである。その曲がり角には電気屋があったが、店主が病に倒れてからしばらくして普通の家に建て替わった。介護車

が玄関先まで入れるように、玄関前に駐車スペースが設けられている。松下幸之助が生み出した家電が所狭しと並んでいた光景は、誰の記憶からも消えていった。
こもこ主人の奥さんが病死してから開店となり今はシャッターが降りている。月見野商店街には寿司屋やうどん屋、歯科、鍼灸院、美容院などが混在しており、賑やかだった。真珠製造販売店もあった。店がなくなり家が建ち変わり、今は名残を丁寧に辿らなければ、在りし日の様子を思い浮かべることはできない。

そんな月見野商店街跡にまた新しい家が建ち、ある家族が引っ越してきた。どこから見てもごく一般的なサラリーマン家庭で、子どもが2人いる。
上の子は高校1年生の女の子。おしゃべりに目覚め始めたのか、親の目を盗んでは口紅を塗るようになった。コロナでマスク着用



月見野の女

その日も鶴橋のガード下で飲んで帰ってきた父親。近鉄河内山本駅を降りると、千鳥足になっていた。もたもたと10分ほど歩いていくうちに、家の近くまでたどり着いた。そこには見慣れない提灯が光っていた。そこには寿司と書かれている。こんなところで寿司屋があったのか。それともできたのか。ちょっと寄ってみるかと暖簾をくぐる。カウンターだけの店で、10人も入ればいっぱいになるような小さな店だが、こぎつぱにしている。店主も客もいない。やっていますかと声をかける。あ、いらっしゃい」と出てきた着物姿の女将を見て酔いが覚めた。宝塚女唄のような別嬪さんだ。かわいぬ女の子は初対面でも馴れ馴れしく話しかけるのだが、美しすぎる女性にはじした。「何にしますか」と聞かれ、熱燗というのが関の山。熱燗が運ばれてきた。手酌でやろうと思

手には負えず、小太りの妻になんとかしろよと言わう。妻の顔をよよ見たのはいつ以来だろう。自分の顔は髭剃りのときに鏡でまじまじと見るが、妻の顔をじっくり眺めることはこのころがない。このころと言いつても考えるに10年は見えていない。あるいは、結婚前後に見ただけなのかもしれない。そう思っ

書 楽 楽 読 帳 夢野悠人

西郷は島流し 3回(奄美大島・徳之島・沖永良部島)といわれますが、奄美大島は薩摩藩の戦略でないので島流しにはなりません。藩から生活手当として「扶持」が6石(後に12石)支給されていた。幕府から執拗に追われた月照と西郷隆盛は錦江湾で入水。それで?

奄美大島に身を隠した西郷

西郷は31歳で、誰が、なぜ、潜居させたのでしょうか。西郷さんのことを少年少女たちにわたりやす

手裏剣・吹き矢の実技指導も

忍者屋敷



チャーミングな岩本百合さん

「忍者屋敷」は2001年11月、常設の忍時代を感じさせるカウ

「忍者屋敷」は2001年11月、常設の忍時代を感じさせるカウ

坂町スケッチ



店主 岩本百合 大阪市中央区千日前1-6-14 千寿ビル別館B1 TEL06-6213-8868

女の子の 女の子による 女の子のためのラグビークラブチーム

OSAKA CRAZY GIRLS RUGBY TEAM



榎本崇士監督(左)と小西宏明コーチ



長居公園清掃活動メンバー

ラグビー風が吹くのは後輩でチームマネ

えがりました。 「薩摩藩では、西郷は罪人だから切腹させた方がよいと考え、そのことを斉興公(斉彬公の父)に申し上げま



「えらぶの西郷さん」表紙

う日本流の「自国内的にない。大阪で楽しんでいると訳されるが、解釈」をしたスポーツ

大手通販サイト、アリゾナで頼んだシリアルが箱が少し凹んでい

小説 リコール

中森 臨時 (北河内在住の小説家)

と、たか括つていた。垢BAN

記憶は一代、記録は末代 自分史・社史出版のお手伝い

地元八尾の出版社だからこそできる きめ細かな本作り

永続する 会社には 社史がある

著者と編集者が二人三脚で本作り 株式会社 ドニエプル出版 TEL.072-926-5134

